

〈沖縄県立開邦高等学校〉

(美術) 授 業 シ ラ バ ス

教科	科目	単位数	学科・学年・学級
美術	素描	3単位	芸術科・第1学年6組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	デッサン・着彩の基礎要素(姿勢、見方、画材の扱い方等)をしっかりと身に付ける。		
教科書・副教材等	高校生の美術1・石膏デッサン【木炭・鉛筆】	授業形態	一斉授業・個人制作

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点、評価規準	考查
1 学期	4	デッサンの基礎基本 ・幾何学 形態 ・金属等の質感	・オリエンテーション ・用具の扱いについて知る。 ・デッサンの取り組み方、基本姿勢を身に付ける。	・デッサンの基本姿勢を理解し、基本的形態を描写する力が付いたか。 ・質感の表現の仕方が理解できたか。	鉛筆 中間デッサン
	5	人物 ・自画像鉛筆デッサン ・自画像 油彩	・人物頭部・首・胸部の正しいプロポーションを捉え、量感や動きをつかみ塊として表す。 ・用具の扱いについて知る。	・画面への構図は、的確か。 ・濃淡の幅はあるか、中間色のパリエーションを捉えているか ・混色の工夫や配色の美しさはあるか	
	6	静物 ・ナイフの扱い ・静物画 油彩	・用具の扱いについて知る。 ・複数のモチーフの関係性を捉え形と色の観察力を養う。	・画面への構図は、的確か。 ・マチュールの美しさは、あるか。 ・混色の工夫や配色の美しさはあるか	鉛筆 期末デッサン
	7	静物 ・静物画油彩続き	・複数のモチーフの関係性を捉え形と色の観察力を養う。	・画面への構図は、的確か。 ・形と正確さと光の当たりかたの観察力。 ・混色の工夫や配色の美しさはあるか	
2 学期	9	構想 ・読書感想画着彩	・文章から情景を想像し、感想を形と色に置き換える作業を学ぶ。	・画面における構図の取り方を工夫して表す。 ・感動したことを、色、形に置き換え、美しく表現できているか。	鉛筆 中間デッサン
	10	・感想画着彩続き 鉛筆デッサン ・石膏像No1	・形態描写に必要な測り棒の扱いを学び、鉛筆の濃淡の幅を観察し量感、質感、空気感を学ぶ。	・かたちや明暗の観察力はあるか ・鉛筆のタッチの違いを表現できたか。	
	11	鉛筆デッサン ・黒紙に白鉛筆 ・グレー紙に黒白鉛筆	・黒やグレーの紙に明るい色(白)で描く技法を学び、明暗に気を配り表現する。	・ハイライト表現の技法を学び、質感が上手く表現できたか。	鉛筆 期末デッサン
	12	鉛筆デッサン ・石膏像No2	・No1の石膏デッサンの講評を生かし、自分の課題を見つける。	・自分の課題を持ち、課題克服を試みたか。 ・かたちや明暗の観察力はあるか ・鉛筆のタッチの違いを表現できたか。	
3 学期	1	木炭デッサン基礎 ・石膏像No1、No2	・木炭の扱いを覚える。 ・鉛筆デッサンとの違いを学ぶ ・形態描写に必要な測り棒の扱いを学び、濃淡の幅を観察し量感、質感、空気感を学ぶ。	・画面にうまく配置構成することができたか。 ・頭部・首・胸部のプロポーションを正しく捉え、量感や動きをつかめたか。 ・細部にこだわらず塊としてトーンの幅を活かして表現できたか。 ・木炭の素材を正しく使い、試行錯誤しながら工夫して扱うことができたか。	鉛筆 デッサン 学年末考查
	2	静物 ・鉛筆デッサン ・静物画 水彩	・水彩の扱いに慣れる。 ・複数のモチーフの関係性を捉え形と色の観察力を養う。	・画面への構図は、的確か。 ・形と正確さと光の当たりかたの観察力。 ・混色、重色の工夫や配色の美しさはあるか。	
	3	静物 ・静物画 水彩続き	・同上	・同上	
年間の評価	作品の提出状況、観点別評価(主体的に取り組む態度、思考力・判断力・表現力、知識・技能)などを総合的に判断し評価する。				

3 その他